

みんなの健康ラジオ

『様々な要因で起こる脱毛症』

(2018年2月14日放送)

横浜市皮膚科医会

横浜労災病院

齊藤典充

脱毛症の分類

後天性脱毛

- 1) 癬痕や皮膚病変を伴わない脱毛
 - 円形脱毛症
 - 男性型脱毛
 - 分娩後脱毛
 - 内分泌疾患に伴う脱毛
- 2) 皮膚病変ないし病的皮膚にみられる脱毛
 - 炎症によるもの：SLE, 皮膚筋炎など
 - 感染によるもの：梅毒、白癬
 - 腫瘍によるもの
- 3) 癬痕性脱毛
 - 感染によるもの：ケルスス禿瘡など
 - 特殊疾患：円板状エリテマトーデス、
morphea
 - 腫瘍
 - 外傷

先天性脱毛

- 1) びまん性
 - 先天性無毛症
- 2) 限局性
 - 母斑性
 - aplasia cutis
 - 先天性三角脱毛
 - 癬痕性

内科的疾患による脱毛症

< 膠原病 >

- ・ 全身性エリテマトーデス
- ・ シェーグレン症候群
- ・ 円板状エリテマトーデス（限局性脱毛）

< 内分泌疾患 >

- ・ 甲状腺機能亢進症
- ・ 甲状腺機能低下症
- ・ 高プロラクチン血症

< その他 >

- ・ 透析患者さんにみられる脱毛
- ・ 出産後脱毛

脱毛を生じる薬剤

- 角化に影響を与える薬剤
 - 血流に影響を与える薬剤
 - 高脂血症に対する薬剤
 - 亜鉛低下をきたす薬剤
 - 甲状腺機能に影響を与える薬剤
 - 性ホルモン剤
 - 降圧薬
 - 抗炎症薬
 - 抗うつ薬
 - 抗てんかん薬
 - 抗生物質
 - その他
- ビタミンA, アシトレチン, イソトレチン
ヘパリン, ワーファリン
クロフィブラート, ベザフィブラート,
フェノフィブラート等
カプトプリル, エラナプリル
プロピルチオウラシル, レボチロキシン,
アミオダロン
炭酸リチウム
メステロロン, テストステロン, ダナゾール等
アセブトロール, ナドロール, ピンドロール,
ラベタロール等
アセトアミノフェン, ピロキシカム, イブプロフェン等
アミノオリプチン, ハロペリドール, デシプラミン等
カルバマゼピン, クロナゼパム, フェニトイン,
バルプロ酸等
イソニアジド, エタンブトール, ゲンタマイシン
クロロキン, シメチジン, ファモチジン,
アロプリノール等

脱毛をきたすその他の要因 (食事との関連について)

- 極度の貧血や、亜鉛欠乏、葉酸欠乏でも毛髪が脆くなり、脱毛を生じる。
- 毛髪の主成分はタンパク質であるが、タンパク質以外にも脂質やビタミン、ミネラル、糖質などあらゆる栄養素が必要である。
- インスタント食品やファーストフードばかり食わず、バランスよく食べる必要がある。
- 「海藻類や粘り気の強い食品を食べると毛髪が濃くなる」は迷信である。

頭髪を健康に保つための秘訣

- 日常のヘアケアが毛髪を健康な状態に保つために重要
- シャンプーで洗髪を行って汚れを落とす
- トリートメントを行う
- 頭皮も良好な状態にしておく
- 洗いすぎは毛髪は頭皮を傷つけるので逆効果
- タオルドライをしっかりと行い、ドライヤーの使用時間を短めにする。
- パーマや染毛も頻繁に行わないようにする。